

第115回 厳寒の玉川上水

学び舎江戸東京ユネスコクラブ

2026.1. 24

大寒を過ぎ玉川上水の木々は、すっかり葉を落とし、柿の実も、木の実も少なくなります。既に
蠟梅が咲き始めました。キジバトやヒヨドリが元気です。2月4日の立春まで鳥たちは何を食べ
厳しい冬を越すのでしょうか。厳寒の玉川上水は野鳥たちの冬越しの生活を観察するには、絶好
の季節です。

POINT ① 冬鳥と漂鳥



コサギ



キジバト



ツグミ



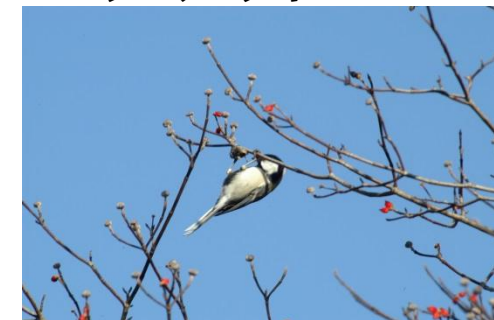
ジョウビタキ



コゲラ



ヒヨドリ



シジュウカラ



ウグイス



エナガ

留鳥：一年を通じて玉川上水で生活する留鳥 スズメ、エナガ、カラス、オナガ、コゲラ、シジュウカラ、メジロ、
キジバト、ヤマガラ、ヒヨドリ、カワラヒワ、アオゲラ、ムクドリ、ヒバリ、キセキレイ、カワセミ、コサギ

冬鳥：11月、北のシベリア、カラフトなどから渡ってくる“冬鳥”

ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、カシラダカ、モズ、

漂鳥：11月になると、国内の北の地方や山地から飛んでくる“漂鳥”

ウグイス、アオジ、アカハラ、トラツグミ、シメ、ルリビタキ、イカル、コサギ、カワラヒワ



エゴの実と
ヤマガラ



緋鯉とカルガモ



メジロ

(野鳥写真: 鈴木忠司氏より)

POINT ② 野草たちの冬越し(ロゼット)

野草たちは、冬を越すための工夫をしています。地面にはいつくばったり、ちちこまったりあの手この手で挑戦しています。一方樹木は、冬芽を枝の先につけ、春を待ちます。



ヒメオドリコソウ



セイヨウタンポポ



ヤブジラミ



オオアラセイトウ



ハルノノゲン



エノノギシギシ



イモカタバミ



これは何？



ヤツデ(11月雄性期)



12月雌性期



4~5月

POINT ③ 野鳥たち(ダイサギ、コサギ、カルガモ、マガモ)



ダイサギ



ダイサギ、コサギ



カルガモ

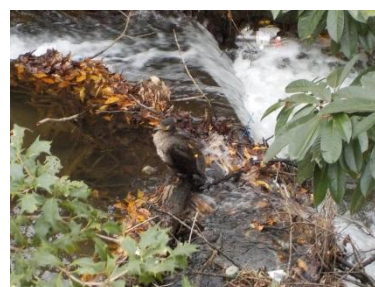


ダイサギ、マガモ



ダイサギ、コサギ、カルガモ

カワウ



ヒヨドリ
シジュウカラ
コゲラ
エナガ
ヤマガラ

POINT④ 冬の樹木たちと冬芽



テイカズラ
アカマツに絡みつく



ケヤキ



キツタ（別名フユツタ）ケヤキなど落葉高木に絡みついた姿は常緑広葉樹みたい



ムラサキシキブ



ミズキ



アジサイ



ウグイスカグラ

マンリョウ



アオキ



（お知らせ） 第116回観察会は、 2026年3月28日(土)9:30です！

ダイヤモンド富士202601041626~27 小平市鈴木町より

